

2018 年 2 月 28 日
日本原子力発電株式会社

東海第二発電所「可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて」
におけるアクセスルートの段差量評価の修正について

1．概要

東海第二発電所技術的能力まとめ資料 1.0.2「可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて」において、直営にてアクセスルートへの対策要否に係る評価としてアクセスルートの段差量評価を実施している。「燃料有効長(T A F)誤り」(以下、「T A F 誤り」という。)及び「東海第二発電所「可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて」におけるアクセスルートの対策実施箇所の修正において」(以下、「アクセスルートの修正」という。)の水平展開として実施した確認により、評価に用いた建物等の路面高等の一部に本来の数値と異なる箇所があり、修正が必要となることを発見した。修正後の再評価の結果、評価結果の数値の記載の修正は必要であるが、従来からの対策方針に変更はないことが確認できた。

なお、当該段差量評価は、設置変更許可申請書の記載事項ではないが、2017 年 10 月 17 日の審査会合においてパワーポイント資料を用いて説明したものである。

また、工認審査を念頭に、一部の記載については精緻化した数値に適正化する。

2．アクセスルートの段差量評価の修正内容

(1)地山と埋戻部の境界部の段差量評価(建屋の埋戻部の評価)…添付 1

建屋等の設置されている地盤標高等について、本来と異なる数値を修正するとともに、修正後の評価結果とする。

(2)浮き上がり評価結果…添付 2

地中埋設構造物の浮き上がり評価において、計算シート等の計算式の本来と異なる引数を修正するとともに、修正後の評価結果とする。

3．原因

建屋等が設置されている地盤標高(路面高)について、アクセスルートが記載された平面図を用いたが、平面図に標高はなく、評価対象となる大部分のアクセスルートが分布する 8m 盤と同一の標高と誤認した。

掘削範囲の評価のための掘削範囲の入力において、本館建屋掘削図(竣工図)に記載の寸法について、本来と異なる数値を読み取り入力した。

建屋等の基礎の深さの入力について、これまでの経験から工学的判断に基づいて入力を行ったが、建屋規模を適切に反映したものでなかった。

計算シート等を用いて評価を行った際、入力データのダブルチェックを実施したが、全数確認ではなく抜き取りで実施していたことから、確認に漏れが生じた。

4．対策

建屋等が設置されている地盤標高の入力データは、地盤標高が記載されている竣工図、メーカー図書、現地確認等の信頼性の高い情報を用いて修正する。

図面から数値を読み取る場合は、入力データが正しいかエビデンスを用いてダブルチェックする。

建屋等の基礎の深さの入力データは、竣工図、メーカー図書、現地確認等の信頼性の高い情報を用いて修正する。

計算シート等を用いて評価を行う場合には、入力データのダブルチェックは全数確認とする。

5．水平展開

今回の段差量評価の修正については、T A F 誤りの水平展開及びアクセスルートの修正の水平展開として実施した確認の中で発見されたものである。

上記の原因 及び については、T A F 誤りの水平展開として、他の申請書等に対し、竣工図、メーカー図書、現地確認等の信頼性の高い情報による数値の根拠の確認により、記載されている数値が正しいことの確認が実施されており、水平展開は実施済みである。

また、上記の原因 及び については、アクセスルートの修正の水平展開として、申請書等のうち計算シート等を用いて直営で評価を行ったものについて、入力データが正しいかをエビデンスをもとに確認し、ダブルチェックにより全数確認を行っており、現在、実施中である。

なお、原因 について、今後、データの入力・評価において工学的判断を要する場合は、関連する情報を確認し、工学的判断の妥当性を検討の上、実施することを安全審査対応者に周知する。

6．添付資料

添付 1 地山と埋戻部の境界部の段差量評価（建屋の埋戻部の評価）の修正前後比較

添付 2 浮き上がり評価結果の修正前後比較

以上

地山と埋戻部の境界部の段差量評価(建屋の埋戻部の評価)の修正前後比較(1/6)

< 修正前 >

< 修正後 >

: 沈下量が15cmを超える箇所							
No.	名称	路面高	基礎 下端	地下 水位	掘削形式	アクセス ルートへの 影響	埋戻部の 沈下量
		T.P.+(m)	T.P.+(m)	T.P.+(m)	開削,土留	影響有:×	(cm)
1	機械工作室用ポンベ庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
2	監視所	8.0	7.0	8.0	開削		-
3	消防自動車庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
4	H2O2ポンベ庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
5	機械工作室	8.0	7.0	8.0	開削		-
6	屋内開閉所	8.0	7.0	8.0	開削		-
7	バトリール車庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
8	H2CO2ガスポンベ貯蔵庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
9	主発電機用ガスポンベ庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
10	タービン建屋	8.0	-14.9	8.0	開削		-
11	原子炉建屋	8.0	-15.0	-15.0	開削	×	23.0
12	サービス建屋	8.0	7.0	8.0	開削		-
13	水電解装置建屋	8.0	6.8	8.0	開削		-
14	ペーラー建屋	8.0	7.0	8.0	開削		-
15	サンプルタンク室(R/W)	8.0	7.0	8.0	開削		-
16	ヘパフィルター室	8.0	7.0	8.0	開削		-
17	マイクロ無線機室	8.0	7.0	8.0	開削		-
18	モルタル混練建屋	8.0	7.0	8.0	開削		-
19	廃棄物処理建屋	8.0	-13.2	-13.2	土留	×	21.2
20	排気塔モニター室	8.0	7.0	8.0	開削		-
21	機器搬入口建屋	8.0	7.0	8.0	開削		-
22	地下排水上屋(東西)	8.0	7.0	8.0	開削		-
23	CO2ポンベ室	8.0	7.0	8.0	開削		-
24	チェックポイント	8.0	7.0	8.0	開削		-
25	サービス建屋~チェックポイント歩道上屋	8.0	7.0	8.0	開削		-
26	サービス建屋ポンベ室	8.0	7.0	8.0	開削		-
27	所内ボイラー用ポンベ庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
28	擁壁	8.0	7.0	8.0	開削		-
29	別館	8.0	7.0	8.0	開削		-
30	PR第二電気室	8.0	7.0	8.0	開削		-
31	給水処理建屋	8.0	7.0	8.0	開削		-
32	固体廃棄物貯蔵庫A棟	8.0	1.6	8.0	開削	×	14.7
33	固体廃棄物貯蔵庫B棟	8.0	2.6	8.0	開削	×	12.5
34	給水加熱器保管庫	5.0	4.0	5.0	開削		-
35	取水口電気室	8.0	7.0	8.0	開削		-
36	屋外第二電気室	8.0	7.0	8.0	開削		-
37	補修装置等保管倉庫	8.0	6.9	8.0	開削		-
38	プロパンガスポンベ室	8.0	7.0	8.0	開削		-
39	機材倉庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
40	No.1保修用油倉庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
41	No.2保修用油倉庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
42	固体廃棄物作業建屋	8.0	5.0	8.0	土留	×	6.9
43	緊急時対策室建屋	8.0	4.0	8.0	土留	×	9.2
44	事務本館	8.0	7.0	8.0	開削		-
45	原子炉建屋(東海発電所)	8.0	-11.1	8.0	開削		-
46	タービンホール(東海発電所)	8.0	0.6	8.0	開削		-
47	サービス建屋(東海発電所)	8.0	6.6	8.0	開削		-
48	燃料倉庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
49	工具倉庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
50	固化処理建屋	8.0	6.7	8.0	開削		-
51	サイトバンカー建屋	8.0	2.0	8.0	開削	×	13.8
52	放射性廃液処理施設	8.0	4.0	8.0	開削		-
53	地下タンク上屋(東)	8.0	7.0	8.0	開削		-
54	地下タンク上屋(西)	8.0	7.0	8.0	開削		-
55	使用済燃料貯蔵施設	8.0	6.1	8.0	開削		-
56	Hバンカー	8.0	6.1	8.0	開削		-
57	黒鉛スリーブ貯蔵庫	8.0	6.1	8.0	開削		-
58	燃料スプリッタ貯蔵庫	8.0	6.1	8.0	開削		-
59	低放射性固体廃棄物詰ドラム貯蔵庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
60	保修機材倉庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
61	ボーリングコア倉庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
62	ランドリー建屋	8.0	7.0	8.0	開削		-
63	再利用物品置場テントNo.4	8.0	7.0	8.0	開削		-
64	再利用物品置場テントNo.5	8.0	7.0	8.0	開削		-
65	再利用物品置場テントNo.6	8.0	7.0	8.0	開削		-
66	ボイラー上屋	8.0	7.0	8.0	開削		-
67	使用済燃料乾式貯蔵建屋	8.0	7.0	8.0	開削		-
68	非常用ディーゼルポンベ室	8.0	7.0	8.0	開削		-

基礎下端高さは、基礎高さ1m未満の建屋は、基礎高さを1mとする。

図面判読の誤り
(TAFの水平展開
ではない。)
原因

P3の図面により路
面高さ8mと判断し
た。

地下水位(地表面
に設定)も路面高
に応じて入力した。
原因

工学的判断の誤り
(TAFの水平展開
ではない。)
原因

凡 例

:路面高の修正

:工学的判断の誤り

:適正化

評価上変更する必要は
ないが、工認審査を念頭に
適正化するもの

: 沈下量が15cmを超える箇所							
No.	名称	路面高	基礎 下端	地下 水位	掘削形式	アクセス ルートへの 影響	埋戻部の 沈下量
		T.P.+(m)	T.P.+(m)	T.P.+(m)	開削,土留	影響有:×	(cm)
1	機械工作室用ポンベ庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
2	監視所	8.0	7.0	8.0	開削		-
3	消防自動車庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
4	H2O2ポンベ庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
5	機械工作室	8.0	6.3	8.0	開削		-
6	屋内開閉所	8.0	6.0	8.0	開削		-
7	バトリール車庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
8	H2CO2ガスポンベ貯蔵庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
9	主発電機用ガスポンベ庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
10	タービン建屋	8.0	-14.9	8.0	開削	×	52.7
11	原子炉建屋	8.0	-15.0	-15.0	開削	×	23.0
12	サービス建屋	8.0	6.3	8.0	開削		-
13	水電解装置建屋	8.0	6.9	8.0	開削		-
14	ペーラー建屋	8.0	4.0	8.0	開削		-
15	サンプルタンク室(R/W)	8.0	6.9	8.0	開削		-
16	ヘパフィルター室	8.0	4.1	8.0	開削		-
17	マイクロ無線機室	8.0	7.0	8.0	開削		-
18	モルタル混練建屋	8.0	7.0	8.0	開削		-
19	増強廃棄物処理建屋	8.0	-13.2	-13.2	土留	×	21.2
20	排気塔モニター室	8.0	7.0	8.0	開削		-
21	機器搬入口建屋	8.0	7.0	8.0	開削		-
22	地下排水上屋(東西)	8.0	7.0	8.0	開削		-
23	CO2ポンベ室	8.0	7.0	8.0	開削		-
24	チェックポイント	8.0	7.0	8.0	開削		-
25	サービス建屋~チェックポイント歩道上屋	8.0	7.0	8.0	開削		-
26	サービス建屋ポンベ室	8.0	7.0	8.0	開削		-
27	所内ボイラー用ポンベ庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
28	擁壁	8.0	7.0	8.0	開削		-
29	別館	11.0	9.0	11.0	開削		-
30	PR第二電気室	11.0	10.0	11.0	開削		-
31	給水処理建屋	11.0	10.0	11.0	開削		-
32	固体廃棄物貯蔵庫A棟	8.0	1.6	8.0	開削	×	14.8
33	固体廃棄物貯蔵庫B棟	8.0	2.5	8.0	開削	×	12.7
34	給水加熱器保管庫	5.0	4.0	5.0	開削		-
35	取水口電気室	3.0	2.0	3.0	開削		-
36	屋外第二電気室	8.0	4.5	8.0	開削	×	8.1
37	補修装置等保管倉庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
38	プロパンガスポンベ室	8.0	7.0	8.0	開削		-
39	機材倉庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
40	No.1保修用油倉庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
41	No.2保修用油倉庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
42	固体廃棄物作業建屋	8.0	5.3	8.0	土留	×	6.3
43	緊急時対策室建屋	8.0	4.1	8.0	土留	×	9.0
44	事務本館	8.0	5.7	8.0	開削		-
45	原子炉建屋(東海発電所)	8.0	1.6	8.0	開削		-
46	タービンホール(東海発電所)	8.0	0.9	8.0	開削		-
47	サービス建屋(東海発電所)	8.0	6.6	8.0	開削		-
48	燃料倉庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
49	工具倉庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
50	固化処理建屋	8.0	5.7	8.0	開削		-
51	サイトバンカー建屋	8.0	1.9	8.0	開削	×	14.1
52	放射性廃液処理施設	8.0	2.9	8.0	開削		-
53	地下タンク上屋(東)	8.0	-	-	-		-
54	地下タンク上屋(西)	8.0	7.0	8.0	開削		-
55	使用済燃料貯蔵施設	8.0	6.1	8.0	開削		-
56	Hバンカー	8.0	6.2	8.0	開削		-
57	黒鉛スリーブ貯蔵庫	8.0	6.2	8.0	開削		-
58	燃料スプリッタ貯蔵庫	8.0	6.2	8.0	開削		-
59	低放射性固体廃棄物詰ドラム貯蔵庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
60	保修機材倉庫	8.0	6.8	8.0	開削		-
61	ボーリングコア倉庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
62	ランドリー建屋	8.0	7.0	8.0	開削		-
63	再利用物品置場テントNo.4	8.0	7.0	8.0	開削		-
64	再利用物品置場テントNo.5	8.0	7.0	8.0	開削		-
65	再利用物品置場テントNo.6	8.0	7.0	8.0	開削		-
66	ボイラー上屋	8.0	7.0	8.0	開削		-
67	使用済燃料乾式貯蔵建屋	8.0	5.8	8.0	開削		-
68	非常用ディーゼルポンベ室	8.0	-	-	-		-

基礎下端高さは、基礎高さ1m未満の建屋は、基礎高さを1mとする。

地山と埋戻部の境界部の段差量評価 (建屋の埋戻部の評価) の修正前後比較 (2/6)

< 修正前 >

：沈下量が15cmを超える箇所							
No.	名称	路面高	基礎 下端	地下 水位	掘削形式	アクセス ルートへの 影響	埋戻部の 沈下量
		T.P.+(m)	T.P.+(m)	T.P.+(m)	開削、土留	影響有：×	(cm)
69	C.W.P制御盤室	8.0	7.0	8.0	開削		-
70	油倉庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
71	配電設備室	8.0	7.0	8.0	開削		-
72	水処理倉庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
73	資料2号倉庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
74	資料5号倉庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
75	資料4号倉庫	8.0	7.0	8.0	開削		-
76	擁壁	8.0	7.0	8.0	開削		-
77	常設代替高圧電源装置	8.0	7.0	8.0	開削		-
78	排水処理建屋	8.0	7.0	8.0	開削		-
79	送水ポンプ室	8.0	7.0	8.0	開削		-
80	受水槽量水器小屋	8.0	7.0	8.0	開削		-
81	加圧式空気圧縮機小屋	8.0	7.0	8.0	開削		-
82	飲料水ポンプ室	8.0	7.0	8.0	開削		-
83	空気圧縮機室	8.0	7.0	8.0	開削		-
84	ホットワークショップ	8.0	5.0	8.0	開削		-
85	屋外タンク上屋	8.0	7.0	8.0	開削		-
86	飲料水次亜鉛滅菌装置室	8.0	7.0	8.0	開削		-
87	緊急時対策所建屋	23.0	22.0	23.0	開削		-
88	原子力館	8.0	7.0	8.0	開削		-
89	正門監視所	8.0	7.0	8.0	開削		-
90	放管センター	8.0	7.0	8.0	開削		-
A	275kV送電鉄塔 (No.1)	8.0	7.0	8.0	開削		-
B	154kV・66kV送電鉄塔 (No.6)	20.0	19.0	20.0	開削		-
C	154kV・66kV送電鉄塔 (No.7)	8.0	7.0	8.0	開削		-
D	154kV・66kV送電鉄塔 (No.8)	8.0	7.0	8.0	開削		-
E	多目的タンク	8.0	7.0	8.0	開削		-
F	純水貯蔵タンク	8.0	7.0	8.0	開削		-
G	ろ過水貯蔵タンク	8.0	7.0	8.0	開削		-
H	原水タンク	8.0	7.0	8.0	開削		-
I	溶融炉苛性ソーダタンク	8.0	7.0	8.0	開削		-
J	溶融炉アンモニアタンク	8.0	7.0	8.0	開削		-
K	主要変圧器	8.0	7.0	8.0	開削		-
L	所内変圧器	8.0	7.0	8.0	開削		-
M	起動変圧器	8.0	7.0	8.0	開削		-
N	予備変圧器	8.0	7.0	8.0	開削		-
O	廃棄物処理建屋 換気空調ダクト	8.0	7.0	8.0	開削		-
P	排気筒	8.0	4.5	8.0	土留		-
Q	排気筒 (東海発電所)	8.0	4.5	8.0	開削		-
R	No.1所内トランスN2タンク	8.0	7.0	8.0	開削		-
S	No.1主トランスN2タンク	8.0	7.0	8.0	開削		-
T	No.2主トランスN2タンク	8.0	7.0	8.0	開削		-
U	No.2所内トランスN2タンク	8.0	7.0	8.0	開削		-
V	600t純水タンク	8.0	7.0	8.0	開削		-

基礎下端高さは、基礎高さ1m未満の建屋は、基礎高さを 1 mとする。

P3の図面により路面高さ8mと判断した。

Bについては、緊急時対策所建屋付近であることから20mと判断した。

地下水位 (地表面に設定)も路面高に応じて入力した。

原因

< 修正後 >

：沈下量が15cmを超える箇所							
No.	名称	路面高	基礎 下端	地下 水位	掘削形式	アクセス ルートへの 影響	埋戻部の 沈下量
		T.P.+(m)	T.P.+(m)	T.P.+(m)	開削、土留	影響有：×	(cm)
69	C.W.P制御盤室	8.00	7.0	8.0	開削		-
70	油倉庫	8.00	7.0	8.0	開削		-
71	配電設備室	8.00	7.0	8.0	開削		-
72	水処理倉庫	8.00	7.0	8.0	開削		-
73	資料2号倉庫	8.00	7.0	8.0	開削		-
74	資料5号倉庫	8.00	7.0	8.0	開削		-
75	資料4号倉庫	8.00	7.0	8.0	開削		-
76	擁壁	8.00	7.0	8.0	開削		-
77	常設代替高圧電源装置	11.00	-24.0	11.0	土留	×	80.5
78	排水処理建屋	11.00	8.4	11.0	開削		-
79	送水ポンプ室	11.00	10.0	11.0	開削		-
80	受水槽量水器小屋	11.00	6.4	11.0	開削		-
81	加圧式空気圧縮機小屋	11.00	10.0	11.0	開削		-
82	飲料水ポンプ室	11.00	10.0	11.0	開削		-
83	空気圧縮機室	8.00	7.0	8.0	開削		-
84	ホットワークショップ	8.00	4.5	8.0	開削		-
85	屋外タンク上屋	8.00	7.0	8.0	開削		-
86	飲料水次亜鉛滅菌装置室	8.00	7.0	8.0	開削		-
87	緊急時対策所建屋	23.00	20.8	23.0	開削	×	4.4
88	原子力館	8.00	6.8	8.0	開削		-
89	正門監視所	8.00	7.0	8.0	開削		-
90	放管センター	8.00	6.2	8.0	開削		-
A	275kV送電鉄塔 (No.1)	8.00	2.7	8.0	開削		-
B	154kV・66kV送電鉄塔 (No.6)	16.40	13.6	16.4	開削		-
C	154kV・66kV送電鉄塔 (No.7)	18.60	14.3	18.6	開削		-
D	154kV・66kV送電鉄塔 (No.8)	14.10	9.9	14.1	開削		-
E	多目的タンク	11.00	10.0	11.0	開削		-
F	純水貯蔵タンク	11.00	10.0	11.0	開削		-
G	ろ過水貯蔵タンク	11.00	10.0	11.0	開削		-
H	原水タンク	11.00	10.0	11.0	開削		-
I	溶融炉苛性ソーダタンク	8.00	7.0	8.0	開削		-
J	溶融炉アンモニアタンク	8.00	7.0	8.0	開削		-
K	主要変圧器	8.00	3.5	8.0	開削		-
L	所内変圧器	8.00	7.0	8.0	開削		-
M	起動変圧器	8.00	4.0	8.0	開削		-
N	予備変圧器	8.00	4.0	8.0	開削		-
O	廃棄物処理建屋 換気空調ダクト	-	-	-	-	-	-
P	主排気ダクト	-	-	-	-	-	-
Q	排気筒	8.00	4.5	8.0	土留		-
R	排気筒 (東海発電所)	-	-	-	-	-	-
S	No.1所内トランスN2タンク	8.00	7.0	8.0	開削		-
T	No.1主トランスN2タンク	8.00	7.0	8.0	開削		-
U	No.2主トランスN2タンク	8.00	7.0	8.0	開削		-
V	No.2所内トランスN2タンク	8.00	7.0	8.0	開削		-
W	600t純水タンク	8.00	7.0	8.0	開削		-
X	154kV引留鉄橋	11.00	9.7	11.0	開削		-

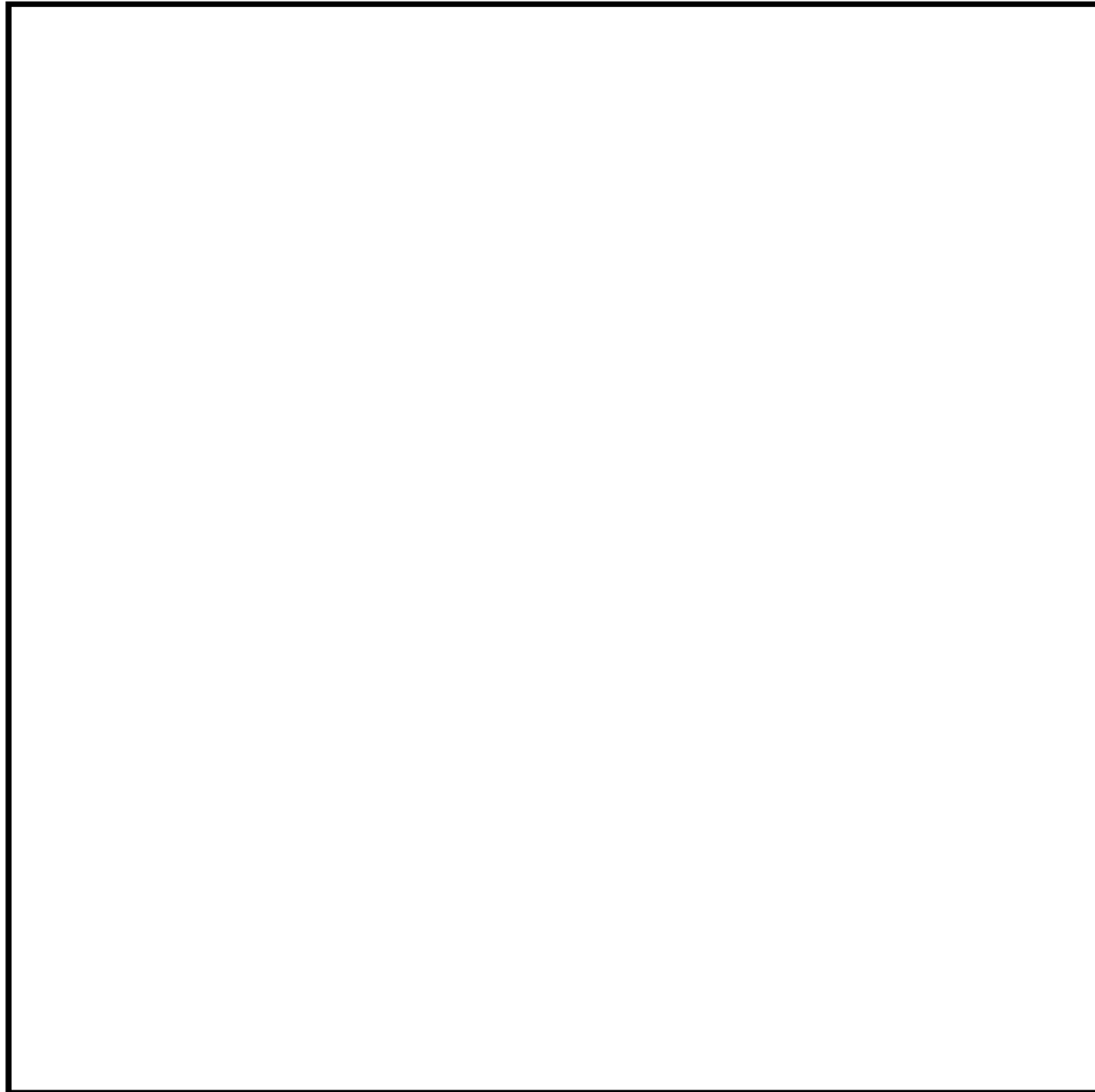
基礎下端高さは、基礎高さ1m未満の建屋は、基礎高さを 1 mとする。

凡 例

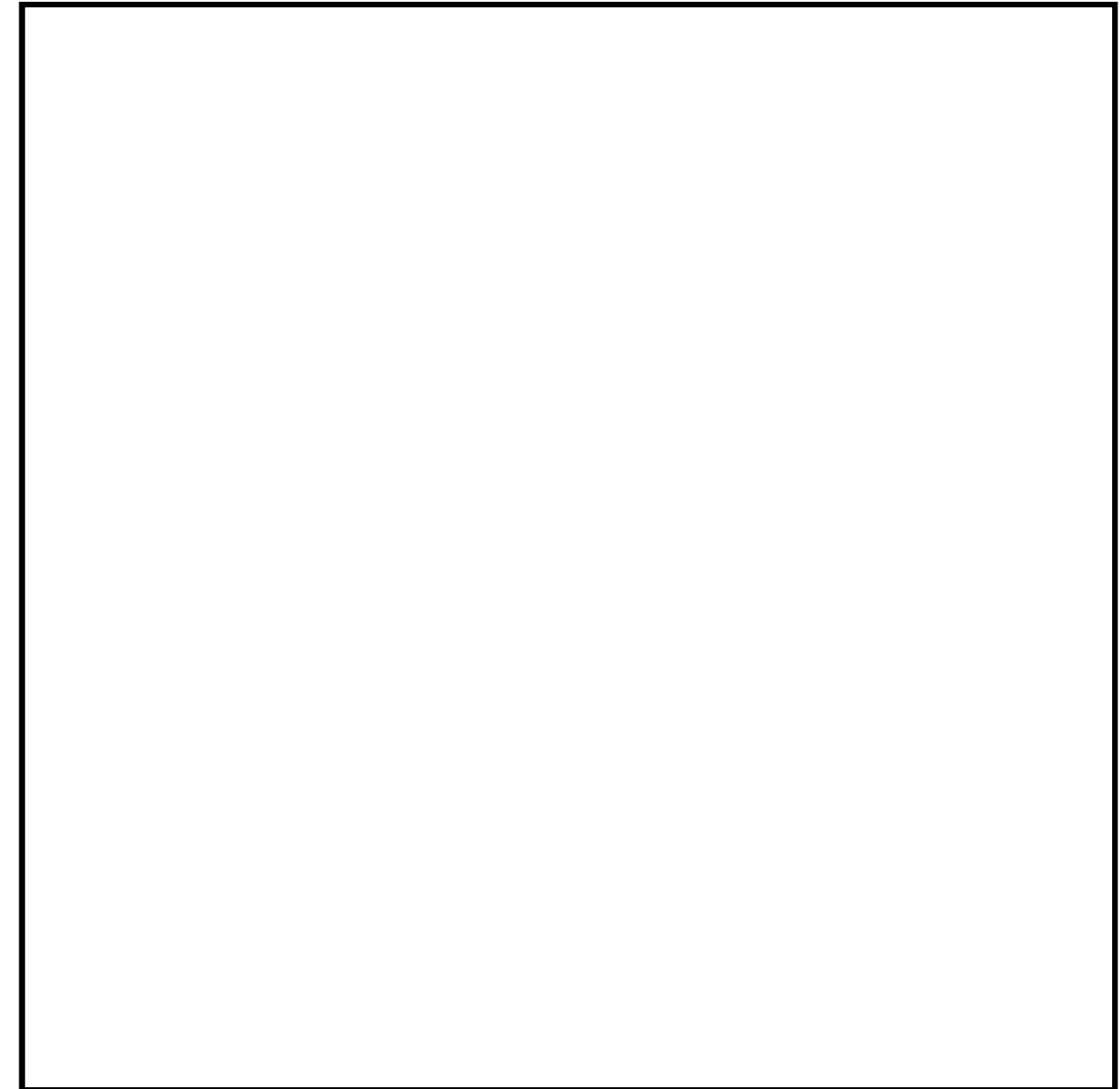
- ：路面高の修正
 - ：工学的判断の誤り
 - ：適正化
- 評価上変更する必要はないが、
工認審査を念頭に適正化するもの

地山と埋戻部の境界部の段差量評価(建屋の埋戻部の評価)の修正前後比較(3/6)

< 修正前 >



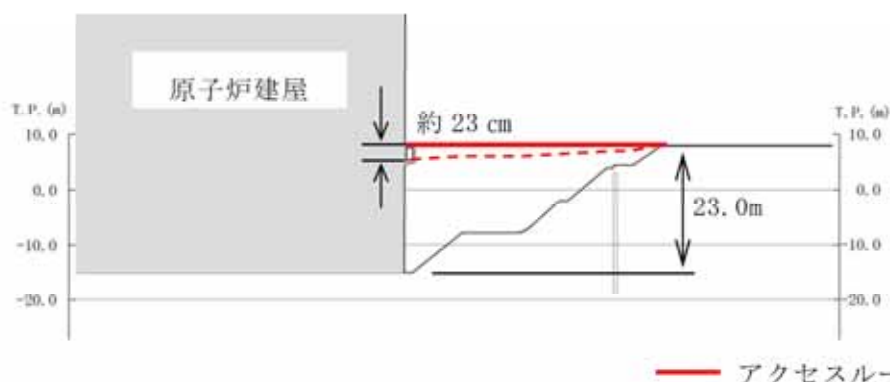
< 修正後 >



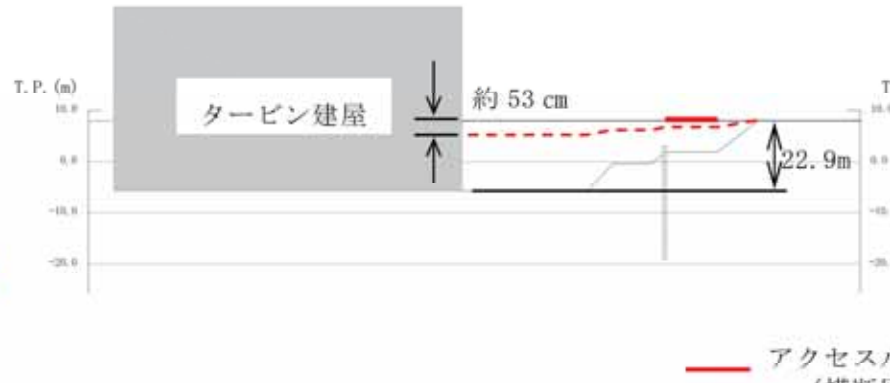
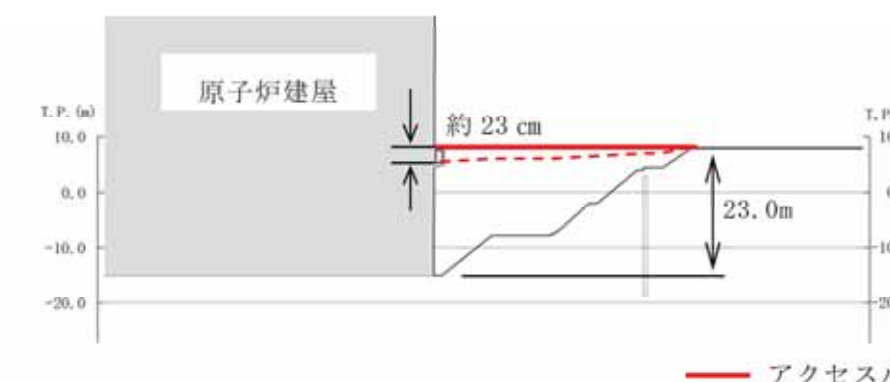
- 詳細評価に 10(東2タービン建屋), 77(常設代替高圧電源装置)を追加
- なお, アクセスルートと重ならないが, 建屋基礎下端が路面高より1m以上低い箇所が増加

地山と埋戻部の境界部の段差量評価(建屋の埋戻部の評価)の修正前後比較(4/6)

< 修正前 >

建屋	地山と埋戻部との境界部の評価結果
No. 11 原子炉 建屋	 <p>約 23 cm</p> <p>23.0m</p> <p>アクセスルート</p> <p>評価結果</p> <p>・埋戻部のみ沈下すると仮定した場合、アクセスルート縦断方向に約 23 cmの沈下が想定されるが、掘削ラインに応じて沈下するため地山と埋戻部の境界に段差はなく、縦断勾配も 1.0%未満であり、可搬型設備の通行に影響はない。</p>

< 修正後 >

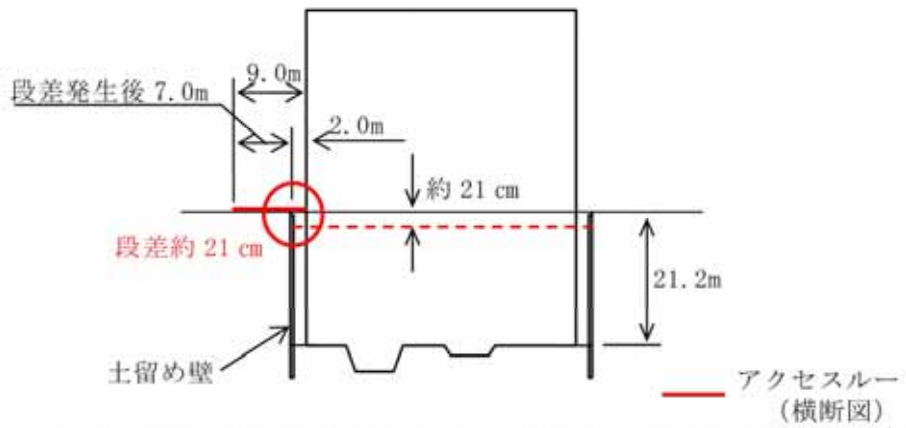
建屋	地山と埋戻部との境界部の評価結果
No. 10 タービン 建屋	 <p>約 53 cm</p> <p>22.9m</p> <p>アクセスルート (横断図)</p> <p>評価結果</p> <p>・埋戻部のみ沈下すると仮定した場合、アクセスルート横断方向に約 53 cmの沈下が想定されるが、掘削ラインに応じて沈下するため地山と埋戻部の境界に段差はなく、横断勾配も 2.0%程度であり、可搬型設備の通行に影響はない。なお、当該アクセスルートは地震時に使用しないルートである。</p>
No. 11 原子炉 建屋	 <p>約 23 cm</p> <p>23.0m</p> <p>アクセスルート (縦断図)</p> <p>評価結果</p> <p>・埋戻部のみ沈下すると仮定した場合、アクセスルート縦断方向に約 23 cmの沈下が想定されるが、掘削ラインに応じて沈下するため地山と埋戻部の境界に段差はなく、縦断勾配も 1.0%未満であり、可搬型設備の通行に影響はない。</p>

→ アクセスルートに影響なし

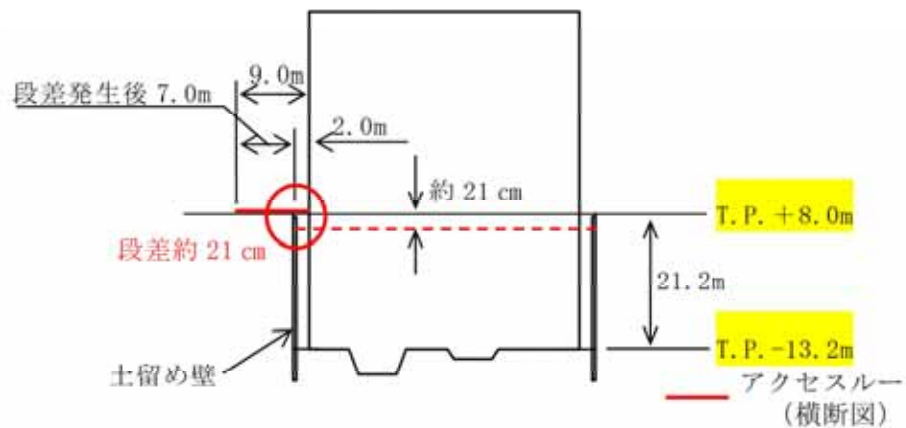
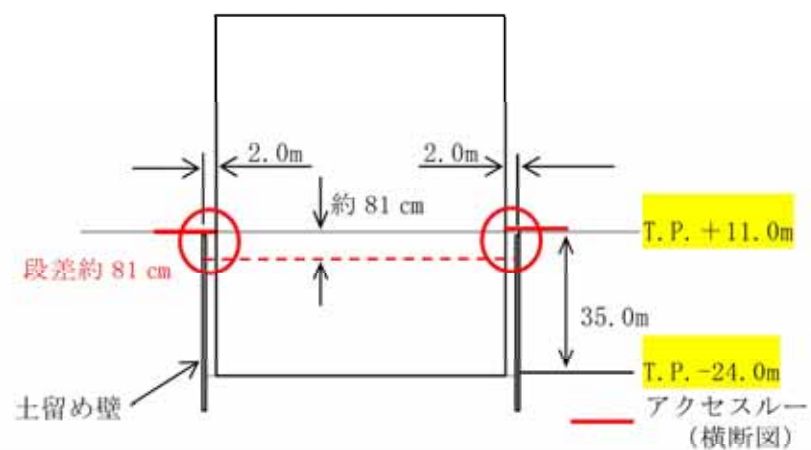
→ 変更なし

地山と埋戻部の境界部の段差量評価(建屋の埋戻部の評価)の修正前後比較(5/6)

< 修正前 >

建屋	地山と埋戻部との境界部の評価結果
No. 19 廃棄物 処理建 屋	 <p>段差発生後 7.0m 9.0m 2.0m 約 21 cm 21.2m 土留め壁 アクセスルート (横断図)</p> <p>段差約 21 cm</p> <p>評価結果</p> <p>・埋戻部のみ沈下すると仮定した場合、土留め壁施工箇所は約 21 cm の段差発生が想定されるが、通行に必要な道幅 (7m) は確保されるため、可搬型設備の通行に影響はない。</p>

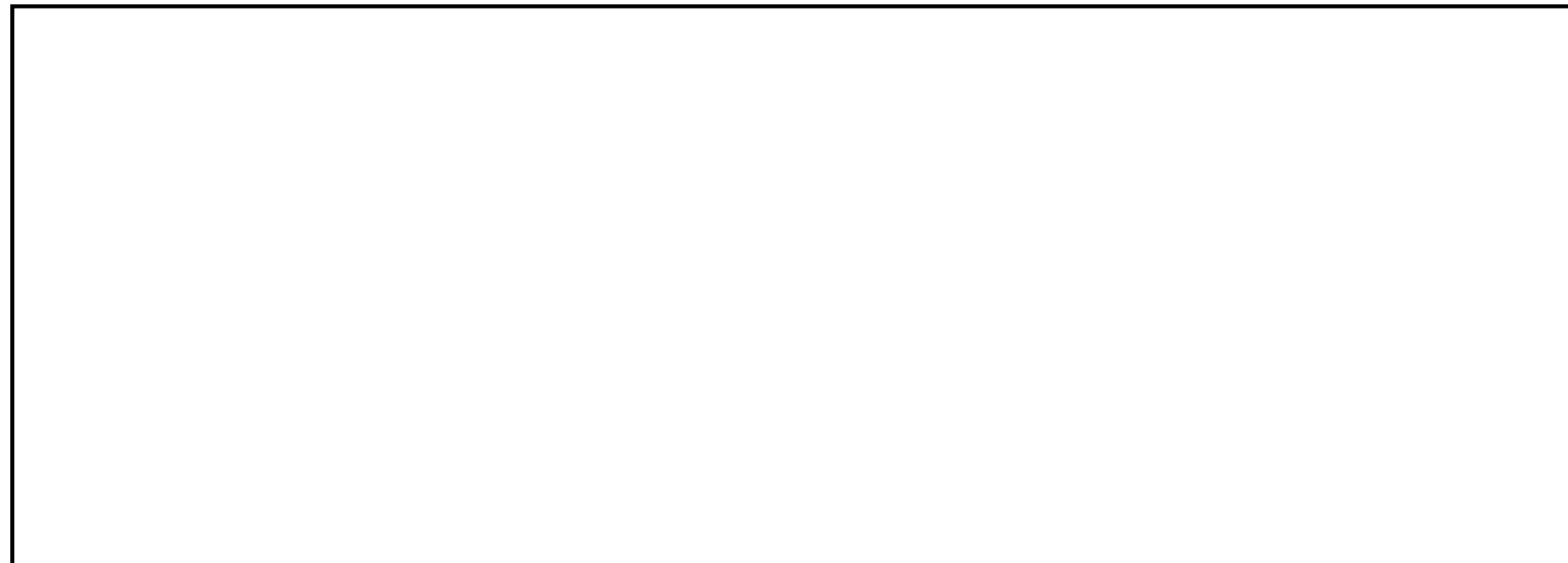
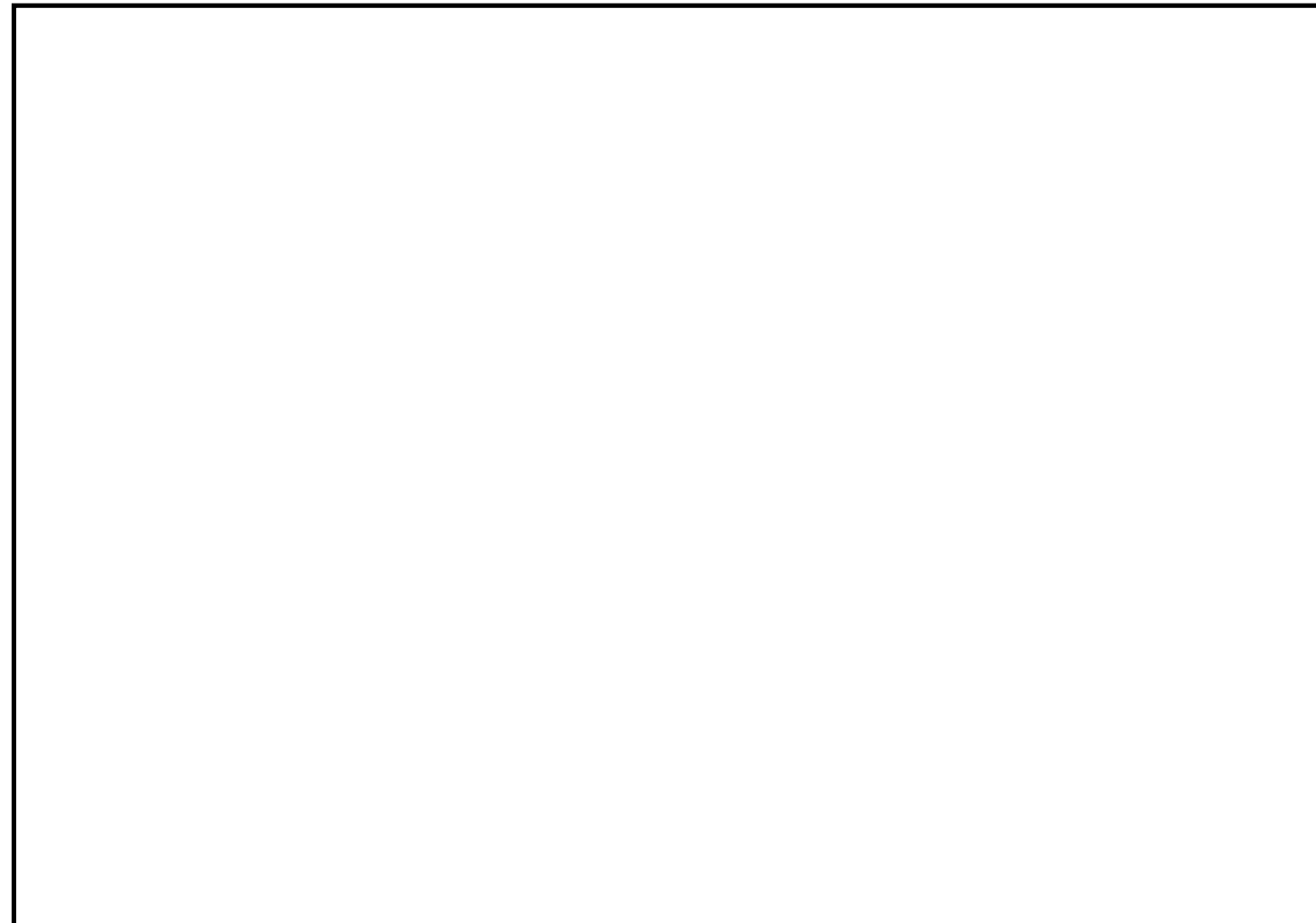
< 修正後 >

建屋	地山と埋戻部との境界部の評価結果
No. 19 廃棄物 処理建 屋	 <p>段差発生後 7.0m 9.0m 2.0m 約 21 cm 21.2m 土留め壁 アクセスルート (横断図)</p> <p>段差約 21 cm</p> <p>評価結果</p> <p>・埋戻部のみ沈下すると仮定した場合、土留め壁施工箇所は約 21 cm の段差発生が想定されるが、通行に必要な道幅 (7m) は確保されるため、可搬型設備の通行に影響はない。</p>
No. 77 常設代 替高圧 電源装 置	 <p>2.0m 2.0m 約 81 cm 35.0m 土留め壁 アクセスルート (横断図)</p> <p>段差約 81 cm</p> <p>評価結果</p> <p>・埋戻部のみ沈下すると仮定した場合、土留め壁施工箇所は約 81 cm の段差発生が想定されるが、沈下を生じない事前対策を行うため、可搬型設備の通行に影響はない。</p>

変更なし

事前対策を実施
するため、対策
方針に変更はない

地山と埋戻部の境界部の段差量評価(建屋の埋戻部の評価)の修正前後比較(6/6) 掘削範囲に係る図面判読の誤り



寸法線及び引出し線が見づ
らかったため、本来赤枠の寸
法は赤線の寸法であるが青
線の寸法として誤認した。

浮き上がり評価結果の修正前後比較(1/2)

< 修正前 >

< 修正後 >

：浮き上がりが15cmを超える箇所

No.	名称	路面高	基礎 下端	構造物高	地下 水位	揚圧力	浮き上がり 抵抗力	安全率	浮き上がり 量
		T.P.+(m)	T.P.+(m)	(m)	T.P.+(m)	(kN/m)	(kN/m)		(m)
1	排油配管	8.000	5.410	0.267	8.000	13.4	12.9	0.96	0.10
2	電線管路	8.000	7.230	0.100	8.000	-	-	-	-
3	電線管路	8.000	5.740	0.900	8.000	39.5	27.8	0.71	0.67
4	電線管路	8.000	5.740	0.900	8.000	39.5	27.8	0.71	0.67
5	電線管路	8.000	5.660	0.850	8.000	40.4	29.7	0.73	0.62
6	電線管路	8.000	5.660	0.850	8.000	42.2	30.9	0.73	0.63
7	電線管路	8.000	6.580	0.320	8.000	10.5	20.2	1.94	-
8	電線管路	8.000	6.720	0.160	8.000	6.3	11.9	1.89	-
9	電線管路	8.000	6.840	0.160	8.000	5.5	10.5	1.91	-
10	電線管路	8.000	6.640	0.160	8.000	6.4	11.7	1.82	-
11	電線管路	8.000	6.540	0.160	8.000	6.5	11.3	1.73	-
12	電線管路	8.000	6.540	0.160	8.000	6.5	11.3	1.73	-
13	電線管路	10.000	8.450	0.130	10.000	-	-	-	-
14	電線管路	8.000	7.140	0.100	8.000	-	-	-	-
15	電線管路	8.000	6.480	0.200	8.000	6.6	10.3	1.55	-
16	電線管路	8.000	6.590	0.250	8.000	7.5	12.5	1.67	-
17	電線管路	8.000	6.780	0.100	8.000	-	-	-	-
18	電線管路	8.000	6.830	0.150	8.000	-	-	-	-
19	電線管路	8.000	7.340	0.100	8.000	-	-	-	-
20	電線管路	8.000	6.920	0.140	8.000	-	-	-	-
21	電線管路	8.000	6.870	0.130	8.000	-	-	-	-
22	電線管路	8.000	6.920	0.140	8.000	-	-	-	-
23	電線管路	8.000	6.610	0.130	8.000	-	-	-	-
24	電線管路	8.000	6.570	0.150	8.000	-	-	-	-
25	電線管路	8.000	7.440	0.110	8.000	-	-	-	-
26	電線管路	8.000	7.440	0.110	8.000	-	-	-	-
27	電線管路	8.000	7.440	0.110	8.000	-	-	-	-
28	電線管路	8.000	7.580	0.100	8.000	-	-	-	-
29	電線管路	8.000	7.190	0.110	8.000	-	-	-	-
30	浄化槽配管	8.000	6.300	0.400	8.000	13.5	12.1	0.90	0.17
31	浄化槽配管	8.000	6.300	0.400	8.000	13.5	12.1	0.90	0.17
32	消火配管	8.000	6.335	0.165	8.000	5.3	5.4	1.01	-
33	消火配管	8.000	6.635	0.165	8.000	4.4	4.4	1.01	-
34	消火配管	8.000	6.686	0.114	8.000	-	-	-	-
35	消火配管	8.000	6.886	0.114	8.000	-	-	-	-
36	ろ過水配管	8.000	6.611	0.089	8.000	-	-	-	-
37	ろ過水配管	8.000	6.611	0.089	8.000	-	-	-	-
38	ろ過水配管	8.000	6.482	0.319	8.000	9.4	9.3	0.99	0.02
39	ろ過水配管	8.000	6.935	0.165	8.000	3.4	3.4	1.01	-
40	ろ過水配管	8.000	6.835	0.165	8.000	3.7	3.8	1.01	-
41	ろ過水配管	8.000	6.186	0.114	8.000	-	-	-	-
42	ストームドレン配管	8.000	6.786	0.114	8.000	-	-	-	-
43	ストームドレン配管	8.000	6.786	0.114	8.000	-	-	-	-
44	D/Yドレン配管	8.000	6.586	0.114	8.000	-	-	-	-
45	D/Yドレン配管	8.000	6.586	0.114	8.000	-	-	-	-
46	D/Yドレン配管	8.000	6.586	0.114	8.000	-	-	-	-
47	R H R S配管	8.000	5.387	0.813	8.000	41.2	39.2	0.95	0.13
48	O G配管	8.000	3.738	0.762	8.000	63.0	57.3	0.91	0.39
49	O G配管	8.000	4.438	0.762	8.000	52.7	47.0	0.89	0.39
50	M U W配管	8.000	6.235	0.165	8.000	5.7	5.7	1.01	-
51	M U W配管	8.000	5.835	0.165	8.000	6.9	7.0	1.00	-
52	M U W配管	8.000	6.640	0.061	8.000	-	-	-	-
53	M U W配管	8.000	5.835	0.165	8.000	6.9	7.0	1.00	-
54	D G S W配管	8.000	4.343	0.457	8.000	32.4	32.2	0.99	0.03
55	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
56	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
57	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
58	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
59	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
60	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
61	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
62	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
63	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
64	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
65	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
66	電気マンホール	10.000	8.360	1.640	10.000	41.4	6.8	0.16	1.37
67	消火系トレンチ	8.000	7.400	0.600	8.000	11.6	3.6	0.31	0.41
68	排水溝	8.000	7.400	0.600	8.000	9.3	3.1	0.34	0.40

揚圧力の計算式
を誤入力していた。
(計算式の対象セルを
一列誤った。)

原因

：浮き上がり量が15cmを超える箇所

No.	名称	路面高	基礎 下端	構造物高	地下 水位	揚圧力	浮き上がり 抵抗力	安全率	浮き上がり 量
		T.P.+(m)	T.P.+(m)	(m)	T.P.+(m)	(kN/m)	(kN/m)		(m)
1	排油配管	8.000	5.410	0.267	8.000	13.4	12.9	0.96	0.10
2	電線管路	8.000	7.230	0.100	8.000	-	-	-	-
3	電線管路	8.000	5.740	0.900	8.000	39.5	27.8	0.71	0.67
4	電線管路	8.000	5.740	0.900	8.000	39.5	27.8	0.71	0.67
5	電線管路	8.000	5.660	0.850	8.000	40.4	29.7	0.73	0.62
6	電線管路	8.000	5.660	0.850	8.000	42.2	30.9	0.73	0.63
7	電線管路	8.000	6.580	0.320	8.000	12.1	20.2	1.67	-
8	電線管路	8.000	6.720	0.160	8.000	8.7	11.9	1.37	-
9	電線管路	8.000	6.840	0.160	8.000	7.4	10.5	1.41	-
10	電線管路	8.000	6.640	0.160	8.000	8.7	11.7	1.35	-
11	電線管路	8.000	6.540	0.160	8.000	8.5	11.3	1.33	-
12	電線管路	8.000	6.540	0.160	8.000	8.5	11.3	1.33	-
13	電線管路	10.000	8.450	0.130	10.000	-	-	-	-
14	電線管路	8.000	7.140	0.100	8.000	-	-	-	-
15	電線管路	8.000	6.480	0.200	8.000	7.4	10.3	1.39	-
16	電線管路	8.000	6.590	0.250	8.000	8.2	12.5	1.53	-
17	電線管路	8.000	6.780	0.100	8.000	-	-	-	-
18	電線管路	8.000	6.830	0.150	8.000	-	-	-	-
19	電線管路	8.000	7.340	0.100	8.000	-	-	-	-
20	電線管路	8.000	6.920	0.140	8.000	-	-	-	-
21	電線管路	8.000	6.870	0.130	8.000	-	-	-	-
22	電線管路	8.000	6.920	0.140	8.000	-	-	-	-
23	電線管路	8.000	6.610	0.130	8.000	-	-	-	-
24	電線管路	8.000	6.570	0.150	8.000	-	-	-	-
25	電線管路	8.000	7.440	0.110	8.000	-	-	-	-
26	電線管路	8.000	7.440	0.110	8.000	-	-	-	-
27	電線管路	8.000	7.440	0.110	8.000	-	-	-	-
28	電線管路	8.000	7.580	0.100	8.000	-	-	-	-
29	電線管路	8.000	7.190	0.110	8.000	-	-	-	-
30	浄化槽配管	8.000	6.294	0.400	8.000	13.5	12.1	0.90	0.17
31	浄化槽配管	8.000	6.294	0.400	8.000	13.5	12.1	0.90	0.17
32	消火配管	8.000	6.335	0.165	8.000	5.3	5.4	1.01	-
33	消火配管	8.000	6.635	0.165	8.000	4.4	4.4	1.01	-
34	消火配管	8.000	6.686	0.114	8.000	-	-	-	-
35	消火配管	8.000	6.886	0.114	8.000	-	-	-	-
36	ろ過水配管	8.000	6.611	0.089	8.000	-	-	-	-
37	ろ過水配管	8.000	6.611	0.089	8.000	-	-	-	-
38	ろ過水配管	8.000	6.482	0.319	8.000	9.4	9.3	0.99	0.02
39	ろ過水配管	8.000	6.935	0.165	8.000	3.4	3.4	1.01	-
40	ろ過水配管	8.000	6.835	0.165	8.000	3.7	3.8	1.01	-
41	ろ過水配管	8.000	6.186	0.114	8.000	-	-	-	-
42	ストームドレン配管	8.000	6.786	0.114	8.000	-	-	-	-
43	ストームドレン配管	8.000	6.786	0.114	8.000	-	-	-	-
44	D/Yドレン配管	8.000	6.586	0.114	8.000	-	-	-	-
45	D/Yドレン配管	8.000	6.586	0.114	8.000	-	-	-	-
46	D/Yドレン配管	8.000	6.586	0.114	8.000	-	-	-	-
47	R H R S配管	8.000	5.387	0.813	8.000	41.2	39.2	0.95	0.13
48	O G配管	8.000	3.738	0.762	8.000	63.0	57.3	0.91	0.39
49	O G配管	8.000	4.438	0.762	8.000	52.7	47.0	0.89	0.39
50	M U W配管	8.000	6.235	0.165	8.000	5.7	5.7	1.01	-
51	M U W配管	8.000	5.835	0.165	8.000	6.9	7.0	1.00	-
52	M U W配管	8.000	6.640	0.061	8.000	-	-	-	-
53	M U W配管	8.000	5.835	0.165	8.000	6.9	7.0	1.00	-
54	D G S W配管	8.000	4.343	0.457	8.000	32.4	32.2	0.99	0.03
55	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
56	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
57	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
58	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
59	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
60	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
61	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
62	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
63	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
64	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
65	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	-	-	-
66	電気マンホール	10.000	8.360	1.640	10.000	41.4	6.8	0.16	1.37
67	消火系トレンチ	8.000	7.400	0.600	8.000	11.6	3.6	0.31	0.41
68	排水溝	8.000	7.400	0.600	8.000	9.3	3.1	0.34	0.40

浮き上がり評価結果の修正前後比較(2/2)

< 修正前 >

< 修正後 >

：浮き上がりが15cmを超える箇所

No.	名称	路面高	基礎 下端	構造物高	地下 水位	揚圧力	浮き上がり 抵抗力	安全率	浮き上がり 量
		T.P.+(m)	T.P.+(m)	(m)	T.P.+(m)	(kN/m)	(kN/m)		(m)
69	原水系、消火系トレンチ	8.000	6.920	1.080	8.000	28.9	5.7	0.20	0.87
70	消火系トレンチ	8.000	7.240	0.760	8.000	14.2	3.9	0.27	0.55
71	電線管トレンチ	8.000	7.660	0.340	8.000	3.0	1.7	0.55	0.15
72	油系トレンチ	8.000	7.270	0.730	8.000	11.3	3.4	0.30	0.51
73	排水枡	8.000	6.900	1.100	8.000	13.4	3.9	0.29	0.78
74	電線管トレンチ	8.000	7.540	0.460	8.000	8.3	3.1	0.37	0.29
75	ろ過水系トレンチ	8.000	7.060	0.940	8.000	19.9	4.6	0.23	0.72
76	消火系トレンチ	8.000	7.290	0.710	8.000	13.8	3.9	0.28	0.51
77	海水系トレンチ	8.000	6.120	1.880	8.000	242.9	20.3	0.08	1.72
78	消火系トレンチ	8.000	7.000	1.000	8.000	23.1	5.0	0.22	0.78
79	消火系トレンチ	8.000	7.250	0.750	8.000	14.4	3.9	0.27	0.55
80	プロパン配管トレンチ	8.000	7.550	0.450	8.000	6.4	2.6	0.41	0.27
81	消火系トレンチ	8.000	6.770	1.230	8.000	23.1	5.0	0.22	0.96
82	排水溝	8.000	7.580	0.420	8.000	4.7	2.2	0.46	0.23
83	排水溝	8.000	7.400	0.600	8.000	9.3	3.1	0.34	0.40
84	補助蒸気系トレンチ	8.000	7.540	0.460	8.000	7.5	2.9	0.38	0.28
85	原水系トレンチ	8.000	7.010	0.990	8.000	9.2	3.3	0.36	0.64
86	排水溝	8.000	7.710	0.290	8.000	3.0	1.8	0.58	0.12
87	ろ過水系トレンチ	8.000	6.800	1.200	8.000	21.0	4.8	0.23	0.93
88	排水溝	8.000	7.490	0.510	8.000	4.9	2.2	0.44	0.28
89	起動変圧器洞道	8.000	2.950	2.950	8.000	264.5	198.0	0.75	1.27
90	主変圧器洞道	8.000	2.900	3.000	8.000	267.1	222.8	0.83	0.85
91	R H R S 配管	8.000	4.200	2.000	8.000	149.8	126.3	0.84	0.60
92	R H R S 配管	8.000	4.400	1.800	8.000	127.7	108.6	0.85	0.54
93	ケーブル管路	8.000	5.900	0.900	8.000	91.1	333.3	3.66	-
94	ケーブル管路	8.000	5.900	0.900	8.000	91.1	333.3	3.66	-
95	ケーブル管路	8.000	5.900	0.900	8.000	91.1	333.3	3.66	-
96	取水配管	8.000	2.400	3.200	8.000	353.3	266.6	0.75	1.37
97	取水配管	8.000	2.400	3.200	8.000	353.3	266.6	0.75	1.37
98	取水配管	8.000	2.400	3.200	8.000	353.3	266.6	0.75	1.37
99	補機冷却水管路	8.000	4.780	3.120	8.000	243.6	144.8	0.59	1.31
100	放水路	8.000	-3.100	4.600	8.000	2648.7	2283.7	0.86	1.53
101	放水配管	8.000	1.400	3.200	8.000	416.4	329.7	0.79	1.37
102	放水配管	8.000	1.400	3.200	8.000	416.4	329.7	0.79	1.37
103	放水配管	8.000	1.400	3.200	8.000	416.4	329.7	0.79	1.37
104	補機冷却水管路	8.000	4.780	3.120	8.000	243.6	75.0	0.31	2.23
105	非常用冷却水路	8.000	5.200	2.800	8.000	363.9	97.4	0.27	2.05
106	非常用冷却水路	8.000	5.200	2.800	8.000	363.9	97.4	0.27	2.05
107	電力ケーブル暗渠	8.000	4.550	2.850	8.000	220.9	141.1	0.64	1.25
108	R H R S 配管	8.000	2.000	2.000	8.000	193.6	210.2	1.09	-
109	R H R S 配管	8.000	2.200	1.800	8.000	170.8	184.1	1.08	-
110	ケーブル管路	8.000	5.900	0.900	8.000	91.1	333.3	3.66	-
111	ケーブル管路	8.000	6.200	0.600	8.000	31.3	83.4	2.66	-
112	取水配管	8.000	2.400	3.200	8.000	353.3	266.6	0.75	1.37
113	取水配管	8.000	2.400	3.200	8.000	353.3	266.6	0.75	1.37
114	取水配管	8.000	2.400	3.200	8.000	353.3	266.6	0.75	1.37
115	ケーブル管路	8.000	5.100	1.300	8.000	137.2	472.1	3.44	-
116	補機冷却水管路	8.000	1.080	3.070	8.000	510.1	409.0	0.80	1.37
117	放水路	8.000	-3.000	4.600	8.000	2624.8	2259.9	0.86	1.53
118	復水器冷却用取水路（東海発電所）	8.000	-7.700	8.500	8.000	2984.9	3128.3	1.05	-
119	一般排水配管	8.000	6.300	0.700	8.000	23.1	18.1	0.78	0.37
120	一般排水配管	8.000	6.400	0.360	8.000	11.2	9.9	0.89	0.18
121	一般排水配管	8.000	6.300	0.470	8.000	15.5	13.3	0.86	0.24
122	一般排水配管	8.000	2.187	0.470	8.000	53.0	50.8	0.96	0.24
123	一般排水配管	8.000	5.276	0.584	8.000	30.9	27.4	0.89	0.31
124	一般排水配管	8.000	3.660	0.700	8.000	58.9	53.9	0.91	0.37
125	予備変圧器洞道	8.000	6.140	0.265	8.000	14.1	13.4	0.95	0.09
126	蒸気系配管	8.000	5.324	0.076	8.000	4.0	4.1	1.03	-
127	電線管路	8.000	6.900	0.300	8.000	11.2	29.0	2.60	-
128	電線管路	8.000	6.230	0.450	8.000	21.4	48.2	2.25	-
129	R H R S 配管	8.000	5.500	2.000	8.000	97.0	74.4	0.77	0.58
130	R H R S 配管	8.000	5.700	1.800	8.000	80.3	61.9	0.77	0.53
131	O G 配管	8.000	3.784	0.216	8.000	17.7	17.4	0.98	0.07
132	一般排水配管	8.000	6.738	0.360	8.000	8.8	7.6	0.86	0.18
133	一般排水配管	8.000	6.939	0.360	8.000	7.4	6.2	0.83	0.18
134	一般排水配管	8.000	6.942	0.254	8.000	5.2	4.7	0.90	0.11
135	O G 配管	8.000	3.738	0.762	8.000	63.0	57.3	0.91	0.39
136	M U W 配管	8.000	6.740	0.061	8.000	-	-	-	-
137	D G S W 配管	8.000	4.343	0.457	8.000	32.4	32.2	0.99	0.03

揚圧力の計算式
を誤入力していた。
(計算式の対象セルを
一列誤った。)

原因

浮き上がり抵抗
力の計算式を誤
入力していた。
(計算式の対象セルを
一列誤った。)

原因

：浮き上がり量が15cmを超える箇所

No.	名称	路面高	基礎 下端	構造物高	地下 水位	揚圧力	浮き上がり 抵抗力	安全率	浮き上がり 量
		T.P.+(m)	T.P.+(m)	(m)	T.P.+(m)	(kN/m)	(kN/m)		(m)
69	原水系、消火系トレンチ	8.000	6.920	1.080	8.000	28.9	5.7	0.20	0.87
70	消火系トレンチ	8.000	7.240	0.760	8.000	14.2	3.9	0.27	0.55
71	電線管トレンチ	8.000	7.660	0.340	8.000	3.0	1.7	0.55	0.15
72	油系トレンチ	8.000	7.270	0.730	8.000	11.3	3.4	0.30	0.51
73	排水枡	8.000	6.900	1.100	8.000	13.4	3.9	0.29	0.78
74	電線管トレンチ	8.000	7.540	0.460	8.000	8.3	3.1	0.37	0.29
75	ろ過水系トレンチ	8.000	7.060	0.940	8.000	19.9	4.6	0.23	0.72
76	消火系トレンチ	8.000	7.290	0.710	8.000	13.8	3.9	0.28	0.51
77	海水系トレンチ	8.000	6.120	1.880	8.000	242.9	20.3	0.08	1.72
78	消火系トレンチ	8.000	7.000	1.000	8.000	23.1	5.0	0.22	0.78
79	消火系トレンチ	8.000	7.250	0.750	8.000	14.4	3.9	0.27	0.55
80	プロパン配管トレンチ	8.000	7.550	0.450	8.000	6.4	2.6	0.41	0.27
81	消火系トレンチ	8.000	6.770	1.230	8.000	23.1	5.0	0.22	0.96
82	排水溝	8.000	7.580	0.420	8.000	4.7	2.2	0.46	0.23
83	排水溝	8.000	7.400	0.600	8.000	9.3	3.1	0.34	0.40
84	補助蒸気系トレンチ	8.000	7.540	0.460	8.000	7.5	2.9	0.38	0.28
85	原水系トレンチ	8.000	7.010	0.990	8.000	9.2	3.3	0.36	0.64
86	排水溝	8.000	7.710	0.290	8.000	3.0	1.8	0.58	0.12
87	ろ過水系トレンチ	8.000	6.800	1.200	8.000	21.0	4.8	0.23	0.93
88	排水溝	8.000	7.490	0.510	8.000	4.9	2.2	0.44	0.28
89	起動変圧器洞道	8.000	2.950	2.950	8.000	264.5	198.0	0.75	1.27
90	主変圧器洞道	8.000	2.900	3.000	8.000	267.1	222.8	0.83	0.85
91	R H R S 配管	8.000	4.200	2.000	8.000	149.8	126.3	0.84	0.60
92	R H R S 配管	8.000	4.400	1.800	8.000	127.7	108.6	0.85	0.54
93	ケーブル管路	8.000	5.900	0.900	8.000	146.7	333.3	2.27	-
94	ケーブル管路	8.000	5.900	0.900	8.000	146.7	333.3	2.27	-
95	ケーブル管路	8.000	5.900	0.900	8.000	146.7	333.3	2.27	-
96	取水配管	8.000	2.400	3.200	8.000	353.3	266.6	0.75	1.37
97	取水配管	8.000	2.400	3.200	8.000	353.3	266.6	0.75	1.37
98	取水配管	8.000	2.400	3.200	8.000	353.3	266.6	0.75	1.37
99	補機冷却水管路	8.000	4.780	3.120	8.000	243.6	144.8	0.59	1.31
100	放水路	8.000	-3.100	4.600	8.000	2648.7	2283.7	0.86	1.53
101	放水配管	8.000	1.400	3.200	8.000	416.4	329.7	0.79	1.37
102	放水配管	8.000	1.400	3.200	8.000	416.4	329.7	0.79	1.37
103	放水配管	8.000	1.400	3.200	8.000	416.4	329.7	0.79	1.37
104	補機冷却水管路	8.000	4.780	3.120	8.000	243.6	75.0	0.31	2.23
105	非常用冷却水路	8.000	5.200	2.800	8.000	363.9	97.4	0.27	2.05
106	非常用冷却水路	8.000	5.200	2.800	8.000	363.9	97.4	0.27	2.05
107	電力ケーブル暗渠	8.000	4.550	2.850	8.000	220.9	141.1	0.64	1.25
108	R H R S 配管	8.000	2.000	2.000	8.000	193.6	210.2	1.09	-
109	R H R S 配管	8.000	2.200	1.800	8.000	170.8	184.1	1.08	-
110	ケーブル管路	8.000	5.900	0.900	8.000	146.7	333.3	2.27	-
111	ケーブル管路	8.000	6.200	0.600	8.000	41.9	83.4	1.99	-
112	取水配管	8.000	2.400	3.200	8.000	353.3	266.6	0.75	1.37
113	取水配管	8.000	2.400	3.200	8.000	353.3	266.6	0.75	1.37
114	取水配管	8.000	2.400	3.200	8.000	353.3	266.6	0.75	1.37
115	ケーブル管路	8.000	5.100	1.300	8.000	202.5	472.1	2.33	-
116	補機冷却水管路	8.000	1.080	3.070	8.000	510.1	409.0	0.80	1.37
117	放水路	8.000	-3.000	4.600	8.000	2624.8	2259.9	0.86	1.53
118	復水器冷却用取水路（東海発電所）	8.000	-7.700	8.500	8.000	2984.9	3128.3	1.05	-
119	一般排水配管	8.000	6.300	0.700	8.000	23.1	18.1	0.78	0.37
120	一般排水配管	8.000	6.400	0.360	8.000	11.2	9.9	0.89	0.18
121	一般排水配管	8.000	6.300	0.470	8.000	15.5	13.3	0.86	0.24
122	一般排水配管	8.000	2.187	0.470	8.000	53.0	50.8	0.96	0.24
123	一般排水配管	8.000	5.276	0.584	8.000	30.9	27.4	0.89	0.31
124	一般排水配管	8.000	3.660	0.700	8.000	58.9	53.9	0.91	0.37
125	予備変圧器洞道	8.000	6.140	0.265	8.000	14.1	13.4	0.95	0.09
126	蒸気系配管	8.000	5.324	0.076	8.000	4.0	4.0	1.00	-
127	電線管路	8.000	6.900	0.300	8.000	16.0	29.0	1.81	-
128	電線管路	8.000	6.230	0.450	8.000	27.5	48.2	1.75	-
129	R H R S 配管	8.000	5.500	2.000	8.000	97.0	74.4	0.77	0.58
130	R H R S 配管	8.000	5.700	1.800	8.000	80.3	61.9	0.77	0.53
131	O G 配管	8.000	3.784	0.216	8.000	17.7	17.4	0.98	0.07
132	一般排水配管	8.000	6.738	0.360	8.000	8.8	7.6	0.86	0.18
133	一般排水配管	8.000	6.939	0.360	8.000	7.4	6.2	0.83	0.18
134	一般排水配管	8.000	6.942	0.254	8.000	5.2	4.7	0.90	0.11
135	O G 配管	8.000	3.738	0.762	8.000	63.0	57.3	0.91	0.39
136	M U W 配管	8.000	6.740	0.061	8.000	-	-	-	-
137	D G S W 配管	8.000	4.343	0.457	8.000	32.4	32.2	0.99	0.03